

被災地の一日も早い復興を願いながら、できることを粛々と行なっていきたいと思えます。

平成30年7月の新設住宅着工は82,615戸で、前年同月と比較すると、持ち家は増加しましたが、貸し家そして分譲住宅が減少したために、全体で0.7%の減少となりました。2か月連続の減少です。

季節調整済み年率換算値は958,000戸。前月比4.7%増で、先月の減少から再びの増加で持ち家は25,447戸で前年同月比0.3%増、6か月ぶりの増加です。

貸し家は35,847戸で、1.4%減、14か月連続の減少。

分譲住宅は20,885戸で0.7%減、2か月連続の減少。

内、マンションは8,699戸、4.0%減。2か月連続の減少。

一戸建て住宅は12,004戸、2.5%増、4か月連続の増加。

地域別戸数は、首都圏対前年同月比4.1%増、中部圏6.1%増、その他地域は5.3%減で近畿圏は、対前年同月比3.6%減です。

近畿の府県別対前年同月比は、滋賀4.7%減、京都18.2%減、大阪1.3%減、兵庫0.6%減、奈良12.1%増、和歌山12.4%減でした。

東京は対前年同月比25.9%増、愛知は4.4%増です。

民間非居住建築物は、前年同月との比較では、倉庫は減少しましたが、事務所と店舗そして工場が増加したので、全体で増加となりました。

全建築物の着工床面積は、1,187万m²で、前年同月比2.6%増です。

4か月ぶりの増加です。

民間非居住用の事務所は46万m²で前年同月比42.0%増、2か月連続の増加。

店舗は77万m²で34.9%増、6か月ぶりの増加。

工場は101万m²で55.5%増、2か月連続の増加。

倉庫は69万m²で12.0%減、4か月連続の減少。

全建築物の近畿の府県別対前年同月比は、滋賀14.7%増、京都34.3%増、大阪19.8%増、兵庫3.3%減、奈良61.7%増、和歌山13.8%減でした。

東京は対前年同月比35.0%増、愛知は3.2%増です。

全体的に材木・合板ともに、流通在庫や価格面で不安定な状況が続いています。

環境対策の点からも、木材は循環型の再生可能な資源です。燃やされない限り、木材は二酸化炭素を体内に固定し続けます。新たに植樹することにより、若木のCO₂吸収量は活発化します。木材を使うこと自体は、決して森林破壊にはなりません。

仮設材に使用される木材も、単なるゴミはならず、木材チップなどに再利用されています。

木材を多くご利用いただけることは、環境を良くすることをご理解いただけたら幸いです。

NO. 1 仮設材について

仮設材の流通在庫は今のところ安定が、多少供給不足感があります。

型枠用合板の流通在庫は品薄状態が続いています。

横矢板既製品寸法の厚み27mm・30mm・35mmは在庫しています。

栈木は仮囲い用の仮設栈(栈木2等品)をご用意しています。

リン木は桧・杉材や米椀材にてご用意(時期により在庫樹種は変わります)。

ポプラよりも強い針葉樹で土留め用合板をご用意しています。

養生ベニヤはNONJAS品のため、住宅養生には適しません。厚みムラもあります。

NO. 2 米松梁材について

米材は入荷量は増えつつありますが、まだまだ少ない状況です。価格面で横ばいです。今後は現地の原木供給が少なくなると予想されます。

NO. 3 外国産構造材について

ホワイトウッド材の流通在庫は依然として4mが極端に少ない状況です。不足感によって価格も多少上がっています。米松羽柄材は横ばい。ロシア赤松材も依然として良品の入荷量が少ない状況です。

NO. 4 国産構造材について

西日本豪雨等の影響で、原木出材量が減少。桧材、杉材ともに今後、供給面、価格面で不安定な状況になる見通しです。杉KD柱材や桧土台はすでに不足感、価格上昇傾向です。

国産材を使用する意義は、国内山林の環境保護・国内林業の活性化・自給率UP・花粉症対策だと思います。

そして、国産材の域に留まらず、兵庫県産材の動きのように、地域材を積極的に使っていこうという気運もあります。

知名度は低いですが、「大阪府内産材」にも同じ動きが官公庁関係を中心に出ています。

弊社は大阪府内産材を積極的にPRしています。

特に大阪府の特徴でもある桧材の流通を目指しています。

公共建築物等木材利用促進法の成立により、国産材は脚光を浴びています。

NO. 5 造作材 米柵無節・上小節材(粗木)について

別注品対応をしています。

NO. 6 無垢材について

建材造作材の一般住宅への定番化により、無垢材利用がかなり減っています。

樹種を問わず、原木・製材品化されたもの共に、入荷量が少なくなっています。

NO. 7 積層材について

積層材既製品(フリー板)の取り扱いアイテムを増やしています。

NO. 8 内外装下地材について(ベニヤ・ボード等)

引き続き、ラワン合板はアイテムによって品薄状態が続いています。価格は上昇基調です。

針葉樹合板の価格は横ばいです。流通在庫は安定してきました。

パーティクルボードは現在は依然として流通在庫がありませんが、需給の調整が進む見通しです。

ケイカル板は、5mmに代わって6mmを在庫しています。

NO. 9 内装仕上げ材について(建材メーカー商品等)

パナソニックと特約代理店契約を結んでいます。

特に、内装ドア、造作材、床材などの内装建材のサービスが充実しています。

NO. 10 断熱材関係商品について

グラスウール・ロックウールともに、安定しています。

NO. 11 養生材について

養生材の販売強化に努めています。

NO. 12 接着剤について

接着剤も値上げ傾向です。

NO. 13 金物・現場備品について

販売強化に努めています。

NO. 14 加工費について

加工に強い会社を目指しています。

NO. 15 各建材メーカー商品について

システムキッチン・ユニットバスなどの水回り設備機器商品の納期は、各メーカーとも安定。



「既存住宅状況調査技術者講習制度」をご存知ですか？

大阪府の補助金事業「木のぬくもり推進事業」

民間の幼稚園や保育園、認定こども園などでの「木育」を推進するために、施設の木質化を図っていかうという事業です。

山忠木材は、この事業にまじめに取り組んでいます。



地産地生 — 地域材

大阪府内産を始め、京都府内産・市内産など地域材活用を推進しています。

国産材・地域材志向のお施主様のお役に立ちます。

地域と自社の活性化のために活動しています。

「おおさか木の家づくり隊」は、大阪の木を使った、良質な住まいづくりを目指しています。

「木のぬくもり推進事業」と、耐震工法「壁柱」の普及に努めています。



優しさ — 福祉

健康福祉用品・介護用品を販売しています。

介護保険適用特定福祉用具販売事業者です。

介護用品レンタルも始めました(介護保険適用外)。

介護保険適用事業所 **たろうの店 きごころ**

「特定福祉用具販売・特定介護予防福祉用具販売」事業所番号2772701435



安らぎ — 耐震

耐震診断・耐震相談など、お声がけください。

耐震リフォームの時など、ご相談ください。

木材業界と京都大学が編み出した耐震工法「壁柱」を推進しています。



思いやり — エコロジー

エコライフ・エコ商品のご提案をします。

エコリフォームの時など、ご相談ください。

エコライフのためのアドバイス、太陽光発電などのエコ商品を販売しています。



日本の和 — 和室

和室をテーマに活動しています。

日本には日本の木を、大阪には大阪の木を、と願って、
優しさや安らぎや思いやりをテーマに
地域の福祉や環境に貢献できるような、
まじめな会社と言われたい。

ご用命をよろしくお願い申し上げます。



山忠木材株式会社

大阪市大正区千島3-18-9

TEL 06-6552-0781

FAX 06-6552-0784